



図書日和

2020年1月号
鹿児島中央高等学校図書館
令和2年1月30日発行

新しい年が始まりました。皆さんはどのような年にしたいですか。3年生は、今進路実現に向けて頑張っています。1. 2年生は、3年生の姿を見ながら一年後二年後の自分を想像し計画を立てる時期でもあるようです。

図書館では、昼休み、放課後、探究学習などの時間に、図書や新聞・雑誌による情報を活用して学習したり、読書を楽しんでいるようすが見られます。今年も図書館でたくさんの本との出会いを楽しみましょう。

私が薦める一冊の本 数学科 山口 悟 先生

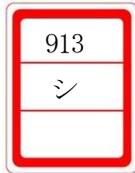
『生存宣言』 島比呂志 著 社会評論社

皆さんはハンセン病のことを知っているだろうか？感染力が弱い上に治療法が確立され、現在の日本ではほとんど感染することはない。しかしかつては原因不明であり、人々から恐れられ差別を受けた。鼻が欠落したり、失明したりといった病状がその原因の一つであったが、それを助長したのが「らい予防法」である。この法律により患者は療養所に強制収容され、結婚しても子どもを産むことは許されなかった。それは治療法が確立してからも続いた。

その差別や偏見に文学を通して戦った作家がいる。それが島比呂志氏である。出身は香川県で、1937年生まれである。東京高等農林学校の獣医学科に入学し、やがて同校の助教授となった。しかしハンセン病を発症し、やがて鹿屋市にある星塚敬愛園という療養所に入所した。そこで文学活動を通して、「らい予防法」の不当性を訴え続けた。

やがて「らい予防法」は廃止され、国賠訴訟にも勝利し、社会復帰を果たした。しかしそのとき80歳を超え、体は不自由だった。それでも死ぬまで偏見や差別と戦い続けた。そんな島氏の作品集である。

<ラベル表示>



* この図書は、図書館に所蔵しています。今月、山口先生が寄贈してくださいました。



1月の新着書が52冊入りました！

第162回直木賞受賞作

著者は鹿児島県出身です。2015年北海道旅行をし、アイヌ民俗博物館に行ったことがきっかけとなった作品です。明治維新後樺太で生まれたアイヌ民族の少年が主人公で、近代化の波にのみ込まれていくアイヌ民族の人たちの信念と運命を描いています。受賞の挨拶では、「歴史を通じて、現代という自分が生きている世界を見たい」と話しました。

2020年本屋大賞にもノミネートされています。

No.	分類	書名	著者名
1	913	熱源	川越宗一
2	7806	オリンピック全大会	武田薫
3	304	21.5世紀 僕たちはどう生きるか?	高島雄哉
4	913	彼方のゴールド	大崎梢
5	0073	AIの時代と法	小塚壮一郎
6	3779	どんな大学に入ってもやる気がでる本	鷲田小彌太
7	3364	大人の言葉力	齋藤孝
8	3694	「孤独な育児」のない社会へ	榊原智子
9	5389	宇宙から帰ってきた日本人	稲泉連
10	834	英単語の語源図鑑(正編・続編)	清水建二
11	913	歩道橋シネマ	恩田陸
12	3697	ボランティアをやりたい!	さだまさし 編
13	8147	平成の新語・流行語辞典	米川明彦
14	1468	公認心理師の一日	WII こども知育研究所

No.	分類	書名	著者名
15	8378	英会話1000本ノック(全4冊)	ステーブ・ソレイシ
16	913	風に乗って、跳べ	川端裕人
17	4102	世にも美しき数学者たちの日常	二宮敦人
18	407	子どもにウケる科学手品 ベスト版	後藤道夫
19	6457	空前絶後の保嬰猫ライフ! 池崎の家編	サンシャイン池崎
20	5389	ロケットガールの誕生	ナタリア・ホルト
21	8131	『広辞苑』をよむ	今野真二

12月貸出統計

合計 258冊

学年	1年								2年								3年							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
貸出数	10	3	8	10	32	9	4	14	8	19	2	7	8	4	23	10	0	0	16	3	10	41	14	3
合計	90冊								81冊								87冊							



本との出会いを楽しもう ～図書展示紹介～

「あたらしいことにチャレンジ！」

新しい年を迎えました。これを機に何か新しいことにチャレンジしたい人も多いと思います。どのように始めたらいいだろう、続けるにはどうすればよいか。そう思った時には、背中を押してくれるような本を読んでみてはいかがでしょうか。



「子年ですよ～！」

令和2年(2020年)の干支は、子(ねずみ)です。ねずみに関連する本を展示しています。本でねずみに関する知識を深めたり、絵本や図鑑をみんなで楽しんだりすることができます。今年も中央生にとって良い年でありますように。



「〇〇力(まるまるいよく)！」

自分力、質問力、コミュニケーション力、精神力、体力、記憶力、人間力、続ける力、聞く力、などなど…。この展示では、〇〇力の本を展示しました。新しい力をつけるきっかけになる本をたくさん紹介しています。



「受験生を応援」コーナー

ちょっと気分転換したい時、このコーナーの本たちが心を和ませてくれるでしょう。

「新聞記事を活用」コーナー

新聞の社説タイトル一覧を月毎に置いています。常に活用している人もいますが、小論文対策にも役立ちます。タイトルが気になったら、その日の新聞を読んでもることができます。

「小論文」コーナー

現在、多くの3年生がこのコーナーの資料を利用して学習しています。ここの資料は受験生の頼もしい味方になるでしょう。

書架や図書、閲覧機の配置を変更しました！！

今月に入り、歴史(2類)・社会科学(3類)・自然科学(4類)の図書移動を行い、これまで窮屈だった自然科学の本が取り出しやすくなっています。また、外国文学を配置している低書架と閲覧機の位置を変更しました。これまでと違う場所に本が並べられていますが、表示も変更し探しやすくなっています。なかなか探せない場合や調べたい内容の図書が見つからない場合には、いつでも気軽にカウンターに声かけしてください。



山口先生が紹介してくださった、島比呂志 著『生存宣言』は、図書館カウンターに置いてありますので読んでみましょう。

この号で紹介した展示は、2月14日(金)まで行っています。昼休みや放課後に図書館に来て本を手にとってみましょう。そして、読んだことのある本があったら、その本を友達同士紹介し合うのもいいと思います。自分では選べないような本に出会い感動するかもしれません。いろいろな本の世界を楽しみましょう。今月の新着書は、他にもたくさんあるので利用しましょう。